



広報 みまた

発行・編集 北諸県郡三股町職員課 ☎52-1111 発行 2月5日 No.220

町民憲章 (昭和39年1月4日制定)

わたくしどもは、歴史に輝き山河うるわしい三股に生を受け、先人の協和と忍耐による郷土建設の偉業を継ぎ、郷土愛と開拓精神をもって、ここに明るく豊かな、明日の町づくりのためにこの憲章を定めます。

- 1 常に新しい希望をもって郷土の開発につとめましょう。
- 1 教育を尊び青少年を健やかに育てましょう。
- 1 環境を清潔にし健康の増進につとめましょう。
- 1 生活を工夫しよりよい風習をつくりましょう。
- 1 力をあわせねばり強く住みよい町を築きましょう。

三股町の花 サツキ:鳥 ホオジロ:木 イチョウ



沿道の声援を背に力走

長田小の親子駅伝大会は、去る1月24日走持バス停をスタート、長田小をゴールとする9.2km10区間で行われました。

霧島おろしの吹く中、10チームが沿道の声援を背に健脚を競いました。

(優勝一竹の子親子会B 2位一にこ親子会B 3位一轟木親子会A)

63 / 2月号

12月 定例 議会

会期 12月12日 ~ 23日

条例案、補正予算案など
16議案が可決成立



教育長に桑畑徳次郎氏

任期満了で勇退された岩崎直雄氏の後任として、桑畑徳次郎氏（六十一歳、都城市若葉町）が、教育長に選任されました。

桑畑氏は、昭和二十年に教職に就かれ、三股中の教諭や北諸教育事務所の指導係長などを経て、昭和四十七年小林市の細野中を皮切りに油津中、祝吉中、妻ヶ丘中の校長を歴任、昭和六十二年三月姫城中を最後に退職されています。

就任のごあいさつ

任期満了で勇退された岩崎直雄氏の後任として、桑畑徳次郎氏（六十一歳、都城市若葉町）が、教育長に選任されました。

桑畑氏は、昭和二十年に教職に就かれ、三股中の教諭や北諸教育事務所の指導係長などを経て、昭和四十七年小林市の細野中を皮切りに油津中、祝吉中、妻ヶ丘中の校長を歴任、昭和六十二年三月姫城中を最後に退職されています。

去る十二月二十八日付をもって、教育長に就任いたしました。文教の町・三股の教育行政をお預かりすることは、たいへん光栄なこととありますが、同時に責任の重大さを痛感いたしている所でございます。

幸いにも、昭和六十四年度の開校をめざして、三股西小学校の建設が今着々と進められています。開校したあかつきには、多目的ホールをはじめ緑陰広場、音楽広場、語らいの広場など、すばらしい近代的設備をもった学校になります。三股町の教育の躍進を示すものでもありますが、町内の各学校の教育内容の充実とともに、これから大いに期待できるものだと思います。

教育行政とは、学校教育は勿論



教育長 桑畑徳次郎

人保健特別会計決算が原案どおり認定されました。

○水道条例の一部改正
六十三年四月二日から、水道料金が平均で十九・五パーセント引き上げられることなどが決められました。

○財産の取得
現在の危険物理地が狭くなったため、新たに約二万八千㎡の用地を購入することが決められました。

○決算の認定
昭和六十一年度の一般会計決算、国民健康保険特別会計決算、新馬場区画整理事業特別会計決算、老

ですが、現在叫ばれている生涯教育の立場から、幼児教育をはじめ青少年教育、壮年・婦人・高齢者教育に至るまでの健全で豊かな生活を営むための働きであり、知・徳・体にわたっての家庭教育、学校教育、社会教育の連けいを図るものであると思います。このことは、町民の皆様のご理解とご協力が必要ではあるものではありませんが、三股町にはすぐれた文化がたくさんあります。このような文化を基に、新しい地方文化の創造に努めたいと思います。そして豊かな社会をつくりたいと思えます。そのためには、まず全ての人々が健康であることです。健康で、明るく、住みよい町づくりに、教育行政の立場から邁進したいと思います。

今後、わたくしは機会あることに皆様の卒直なご意見を拝聴し、皆様との協力関係を維持しながら「文教の町・三股」をさらに発展させ、皆様のご期待にそうべく、がんばりたいと思います。どうかよろしくお願ひ申し上げます。誠にありがとうございました。

盛大に成人式を開催 271人が大人の仲間入り



満二十歳の門出を祝う成人式は、一月五日午前十時から町社会体育館で開かれました。今年の新成人は二百七十一名で、このうち百九十六名（男性八十六、女性百十）が背広姿や振袖姿で式に出席しました。

式典は、全員で町民憲章を朗読した後、成人証書が新成人者代表の福田小百合さん（上米）に贈られました。

その後、桑畑三夫町長と桑畑徳次郎教育長が「本日を契機にさらに精進し、立派な社会人となって下さい」と励ましの言葉を贈りました。続いて、有村町議会議長と黒木遼管委員長からそれぞれ祝辞が述べられた後、新成人者を代表して上徳亮輔さん（山王原）が「皆様のご教示をしっかりと胸にささみ、立派な社会人として社会の発展のため努力します」と決意を述べました。

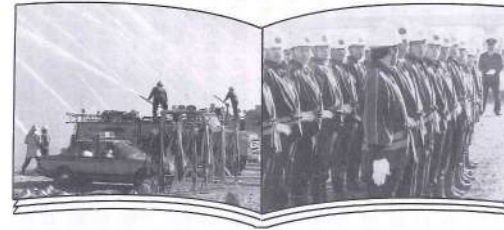
式典終了後は、青年主張発表が行われ、県青年団協議会副会長の西田保子さん（前目）が「社会人として、女性としての青年観」と題して、青年団の重要性を唱え、青年団への加入を訴えました。

また、新成人の加賀谷晴美さん（稗田）が「二十歳を迎えて」と題して、二十歳になった心境や成人としての決意を発表しました。その後は、記念撮影や久しぶりの顔を合わせる友人との話に花を咲かせる光景が見られました。



成人証書を受ける福田さん

消防出初式



昭和六十三年の新春を飾る消防出初式は、一月十四日岩下橋下流の河川敷で開かれました。
午前七時五十分、消防ポンプ車補給車、積載車など十二台が消防団本部車庫を出発、市中パレードした後、百五十人の消防団員全員が会場に集合しました。
式典は、午前九時から消防団旗の入場で開始され、本部から第七部まで人員、服装、規律、機械器具の点検が各部門に行われまし

水の放列に歓声

で一斉放水が披露され、消防団員のきびきびした動作と色とりどりの水の放列に、見物人からどっと歓声があがりました。
また、都城消防署のはしご車からの放水や長田ヶ地保育園児によるミニ消防車の放水も披露され、式典に花を添えました。
その後、成績発表や講評、優良団員や団体の表彰が行われました。

〇県知事表彰
福留 三郎

〇消防協会長表彰
上沖 藤廣 原口 隆志 大脇 勇二 原口 重厚

〇郡城支部長表彰 優良部第七部
重信 和人 木野田俊一 高妻 静雄

〇町長表彰
上原 雅彦 別府 幹男 大村 忠美 時任 忠美 上村 正一 高畑 利彦 時任 一盛 大塚 貞 出水 和彦 芥木 健 飯原 宗男 溝口 良信 三寺 正 森 正一 大坪 博文 桑畑 良一 神崎 孝弘

〇町長表彰
原田 好二分 時男 賞額 弘隆 大脇 安則 徳丸 綱秋 松山 誠 藤原 正三 中野 順一 横田 敏光 松本 良彦 前村 光孝 岩崎 龍郎 佐伯 一弘 山之内和春

子どもの声を聞く会 (その3)



長田小6年 三上 貴司

ぼくは、こんな 友達関係を作りたい

最近、あまりいいじめの問題について、大きく取り上げられることが少なくなりました。でもいいじめがなくなるまでにはまだまだ、時間がかかるだろうと思います。ぼくたちの学校にも、大きな問題になるほどのいじめはないのですが、このようなことがありました。昼休み時間のことです。みんな仲良くボール遊びをしていた時、途中で急に、一人の人だけがボールを回さなくなったのです。ぼくは、その人を見て、かわいそうだな、だれかボールを回してくれる人がいないだろうか、思ったけど、だれも回してあげませんでした。ぼくも回す勇氣がありませんでした。持ちでボールが来るのを待っていたのだからと後で思いました。

また図工の時、よくグルーブを作ったりします。でも一人だけ仲間にはいって来れない人がいます。見ていると、あまりいい気持ちではないし、その人はやっぱり仲間にはいられないだろうと思います。「いっしょにやろう」と言ってくれるのを待っていたのだからと思いましたが、でもだれもそういうことを言いません。そしてぼくにもその勇氣がありませんでした。また大きな問題について考えてみると、二年ほど前のことでしたが、掃除の時に五、六人で一人の人をいじめているのです。ぼくは、「やめよう」と言おうとしたけど、相手が年上の人なので何も言えず、また他の人たちもだまって見ているだけでした。

ぼくは、これではいけないと思っ、みんなで仲良くするために、は、どういふことをすればいいのだろうと考え、全校で遊ぶ日というのを提案しました。そして実際にやってみると、みんな楽しく遊んでいました。そして一番これをやってみてよかったことは、ぼくたちとあまり親しくなかった、一年生や二年生と仲良くなった、同級生同士では、みんながいままでも以上に仲良くなり一人一人の性格もよく分かりました。ぼくたちのこの全校で遊ぶ日を、他の学校にもやって見てほしいと思います。



橋山小六年 甲斐 薫

私は友達とこんな 関係をつくりたい



最後にはぼくは、いじめをなくすためには、友達の中がいっつも分かり合えるようにすれば、いじめもなく、いい友達関係を築くことができると思います。そしてぼくは、これからは、もっと積極的に、いい友達関係を作って行きたいものだと思います。

なあと、話し合ったりしました。特に仲よしの人もいます。その人とは、休み時間などよく遊びます。そして、その人とは、お互いにお母さんや先生に話せないことでも、打ち明けて話している話をします。とてもいい悩みごとがあっても、二人でアドバイスをし合ったり、こんなことをしたらいいんじゃないかなとかいうことなどを話し合ったりして解決します。

私は、今までにいろいろな友達に出会いました。その中には、いじわるな人もいました。この人は、一年生のころ一緒でした。いじわるさした時のことはもうあまり覚えてませんが、いじわるをされた時は、せつない話すもんかと思いました。

でも、いじわるはされたけれど、いつも一緒に学校から帰ったから私にとってはいい友達でした。今ではなつかしい友達の一人です。この友達も今は、六年生になって登校班の班長をしながら、下級生のお世話をしているのではないかと

私には今、たくさんの友達がいいます。クラスの女の子はみんな友達で、とても仲良しです。悩みごと、みんなで解決することがあります。ある日、ある人がだれかにいじめられた時にも、みんなでどうしたらいいか思えなくなるか

正しい薬の飲み方

(1) 薬はコップ一杯の水が、ぬるま湯で飲みましょう。
先日、町立病院の患者さんを対象に、薬の飲み方についてアンケート調査を実施しました。ところが、薬を飲む時に用いる飲み物の種類は水が六六人、お湯が二六人、牛乳が五人、お茶が四人、ジュースが一人、ヤクルトが一人の順で、牛乳やお茶で飲む人が九人いました。
仮に牛乳で薬を飲みますとある種の抗生物質は体への吸収が悪くなり、十分な薬の効き目を発揮できません。お茶で薬を飲みますと、お茶の成分カフェインにより興奮したり、タンニン酸により貧血の薬が十分効かなかつたりします。逆に水なしで薬を飲んだり、ほんのひと口で薬を飲んだりすると、食道の粘膜にカプセルや錠剤がくっついてしまい、そこで薬が溶けだすと薬の刺激のために粘膜に炎症がおこることもあります。
このような理由により、薬はコップ一杯の水か、ぬるま湯で飲んだ方がよいというわけですよ。

(2) 薬は正確にきちんと飲みましょう。
薬は大きく分けて二種類

健康教室

町立病院の

これらアンケート調査の結果ですが、自分の判断で薬を飲むのをやめたり、症状が良くならないので一回分多く飲んだりするなどの、医師の指示通り飲まなかつた人が二〇八人(五八%)もありました。このように自分の判断で薬を飲んだり、飲み過ぎが心配な状況に思わぬ弊害がおこります。例えば高血圧の薬を勝手にやめると、かぜ薬だけを服用した場合、血圧が上がってしまい脳出血をおこすおそれもあります。ですから自己判断で薬を飲んだり、やめたりしないで、医師の指示どおり飲むことが大切です。
(次回は、歯槽膿漏と歯磨き)



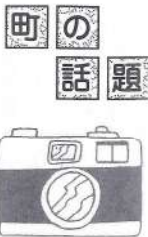
老人ホームを慰問

理容組合

三股理容組合(会長釜原親雄、会員二十二名)は、先ほど老人ホームを訪れ、入園者に散髪の無料奉仕を行いました。

これは、お年寄りを敬愛し、その長寿を願おうと敬老の日と正月の年二回、二十五年間続けているの。

当日は、会員十四名が散髪に参



母校に100万円を寄付

牧原 義正さん(86)

老人ホーム清流園に入園されている牧原義正さん(八十六歳)は、このほど母校の椋山小に百万円を寄付され、その善行に対する表彰式が一月二十二日同園で行われました。

式では、桑畑町長から善行賞が贈られた後、椋山小の児童を代表して、坂元みゆきさんが本をたくさん贈ってくださってあげたとう。ぜひ学校に遊びに来てください」とお礼を述べました。

なお椋山小では、この寄付を基に「牧原文庫」を創設しました。



米の三者懇談会を開催

町米消費拡大推進協議会が主催する三者懇談会が、先ほど三股小図書館で開かれました。

これは、米の消費拡大をめざすもので、生産者や販売業者、消費者(PTA母親会員)など約七十名が参加。

「米の価格は高いと思うが」、「米の自由化をした方がよいか」、「米飯給食の回数を増やすことはどうか」などについて意見が交換された後、学校給食の試食会が行われました。



加し、正月を前にお年寄りほとも喜んでおられました。

二宮公雄氏が講演

町では、恒例の新春懇談会を一月九日、老人福祉センターで開きました。

これは、住みよい町づくりを進めるため開いているもので、町議会議員や公民館長、各団体の長など約百名が出席しました。

講師に本町出身で、全国各地の都市計画に活躍されている二宮公雄氏(63)を招いて、「ふるさとの町づくりを考える」を講演。参加者はメモを取りながら熱心に聞き入っていました。



私はこの人がかわいそうで、いつもいろんな物を作って遊ばしました。私がこの人と遊んでいると、からから男の子たちがいました。私は、この男の子たちからかわれた時は、とてもいやでした。一本の花、一匹の虫にもやさしくする人もおれば、なにも一つ悪い事をしない人をからかったり、いじわるをしたりする人もいます。人をからかったり、いじわるをしたりする人も、自分が人から、からかわれたり、いじわるをされたらしてみれば、いつか人の気持ちも分かるようになるだろうと思います。

私は今でも、耳の不自由な人と友達になってあげてよかったと思っています。

私たちの学校の目標の一つに、「やさしくみんなと助け合う」というのがあります。やさしいという漢字は人べんに憂えるといつて、人のことを自分のことのように考えることだと先生が教えて下さいました。私が今までに読んだ本の「泣いた赤鬼」や「走れメロス」も、友達のことを自分のことのように思っで真心をつくした物語でした。

私は友達関係が一番大切なことは、友達のことを自分のことのように考えてあげることではないか

休日の水道修理は 水道局へ!!

土曜日の午後、日曜日、祝祭日の水道修理は役場水道局へ直接ご連絡ください。

☎五二一一一一



と思います。私は、今まで友達に對して本当にやさしかっただろうかと反省しています。

今、私には、県外にもたくさん友達がいいます。その中の二人は、ちっちゃいころの幼なじみです。そのほかの人は文通で知り合いました。

県内にもたくさんいます。中学生、高校生、同年代の人、たくさんいます。そして、みんな明るくて、なんでも教えてくれるのでとても仲よしです。

私はこれから優しいという漢字の本当の意味を考えながら、友達とつき合っていきたいと思っています。



図書館 だより 第八十八号

一、園児が先生と絵本読み

去る一月九日、みまた幼稚園児二十八名が図書館に来て、先生といっしょに絵本読みをしました。

「こんにちは」と園児たちの明るい元気なあいさつ。

幼児時代から、図書館の雰囲気になれさせると共に、本に親しませて感性豊かな子供に育てたいという願いから、先生方が時折り引率して来館されています。



三股小1ねん さぎだ けんじ

二、読書感想文

「サラダでけんき」をよんで

りっちゃん、サラダをつくったのは、たいへんだったでしょう。ほうちゅうは、あぶなくなくかつてくたさい。

りっちゃん、おかあさんがげんきになりましたね。よかったですね。

おかあさんが、かおがもちいろうになったりしたのは、どうぶつたちのおかげだよ。大きくなえ、ありがとをいってください。それから、りっちゃん、もういっかいサラダをつくってほしい。たべさしてください。どんなにおいしいか、しりたいんです。おねがいます。サラダしよくじかいをしたいと思います。ぜひ、いぬさんやありさんたちをつけてきてください。

おいしいサラダをまっています。りっちゃん、いつもいつもけりっちゃん、さようならさようなら。

家族みんなで加入しましょう

交通事故はますます増加しています。「交通災害共済」は、わずかな掛金を出し合い、会員相互の助け合いによって見舞金をおくろうという制度です。

六十二年度は、町内で八千八百二名の方が加入され、このうち六十三名の方が合計四百四十二万円の見舞金を受けておられます。

お年寄りも、子供も、家族みんなで加入しましょう。

- ◎掛金 年間一人につき 五百円
- ◎見舞金 死亡の場合 一百万円

ケガの場合 一万円～八十万円
 ◎申込み方法等 二月下旬に申込み用紙を配布しますので、支部長を通じて申し込んで下さい。

※詳しいことは、役場町民室(五二一―二二―一)まで。

お知らせ



町村交通災害共済 申込みは三月一日から

◆所得税の確定申告は、 正しく、お早めに

昭和六十二年分の所得税の確定申告は、二月十六日から始まり、申告期限は三月十五日ですが、期間間近になりますと税務署は大変混雑し、長時間お待ちいただくようなことになりかねませんので、税務署から指定された相談日に行けるだけ出掛けるなどして、確定申告は早めに済ませるようにしてください。

また、確定申告書は「申告書の書きかた」や「所得税の確定申告の手引き」を参考に、昨一年間の所得と税額を正しく計算して記載し、お早めに申告と納税を行ってください。

なお、事業所得、不動産所得又は山林所得のある白色申告者の方は、確定申告書に「収支内訳書」

を添付することが義務付けられていますので、ご注意ください。
 詳しいことは、都城税務署にお気軽にお尋ねください。
 (五二一―四三三七)

申告と納税は3月5日まで

(昭和62年分)

納税相談日程

- (所得税)
- 期日 二月二十四日～二十六日
 - 時間 午前九時～午後四時
 - 場所 三股町役場大・中会議室
 - (贈与税)
 - 期日 二月十六日
 - 時間 午前九時～午後四時
 - 場所 三股町役場中会議室

一般寄付

県民生協三股支部 五千円

生協まつりバザーの益金を社会福祉事業に役立てて下さいと寄付されました。

誠にありがとうございました。

愛の「寄付

三股町社会福祉協議会では、説明寄付を次の通りいただきました。故人のご冥福をお祈りいたしますと共に、社会福祉発展のために有意義に利用させていただきました。誠にありがとうございました。

昭和六十二年十二月三十一日まで寄付者 情懷 故人名 地区 金額

- 大崎利私恵 三子 今市 五百円
- 堂領敏昭恵 夕子 谷 三百円
- 嘉藤和男 雅也 下新 二百円
- 松山ケサノ志 重春 東原 二百円
- 小林武盛妻 シシエ 田上 二百円
- 白濱行夫 進 今市 二百円
- 小牧善裕母 タツ 樺山 二百円
- 浜島義雄妻 利子 下新 二百円
- 有村純子志 満昭 山原 二百円
- 南畑マユ美 武雄 夢池 二百円
- 岩崎レイ美 満幸 山原 五百円
- 今村照男 カル 前目 五百円
- 上村 茂雄 キミ 榎田 五百円
- 長倉カオル志 祐泰 樺山 五百円

三股町の人口

昭和63年1月1日現在
 男 9,277人 出生26人
 女 10,358人 死亡9人
 人口19,635人 転入76人
 転出49人
 世帯数 6,314戸
 前月比 +44人